

2010年12月17日
株式会社パスコ

(報道資料)

災害情報のプラットフォーム「情報収集班」のサービスを開始 あらゆる自然災害の情報を一画面に集約、総合的な状況判断を支援

株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：杉本陽一、資本金：87億円、セコムグループ、東証1部、以下パスコ）は、航空機や人工衛星を用いて収集した空間情報を処理・加工し、お客さまの課題解決に必要な空間情報サービスを提供しています。

このたび、パスコは、自然災害に関するあらゆる情報を一つの地図画面で把握できる災害情報のプラットフォームとなる「情報収集班」ASPサービスの提供を12月より開始します。

近年、地震だけでなく、ゲリラ雷雨や大雨といった風水害など自然災害が多発し、各地で多くの爪痕を残しています。これまでの気象情報は、警報・注意報は警報・注意報、台風は台風、降水は降水というように、それぞれ別々に表示されてきました。その結果、例えば、台風や降水と警報・注意報は同時に起こる事象で、大きな因果関係があるにもかかわらず、それらを複合的に捉え、状況を把握したり、判断することが困難でした。

また、災害発生の危険のある状況では、多くの企業が気象情報だけでなく、報道やインターネットで盛んに情報を収集します。これらの情報の多くは文字情報であり、土地勘がない限り、面的な分布の変化などを把握することも困難でした。

そこで、提供を開始する「情報収集班」は、地震、台風、警報・注意報、降水などを1つにまとめるとともに、インターネット上に散在する災害対応に資する情報の総合的な把握を可能にするためのより、早期の迅速な予防・対応の意思決定を支援します。

■「情報収集班」の主な特長

1) あらゆる自然災害の情報を集約

地震、台風、各種注意報・警報、降水量(降水ナウキャスト、雷雲ナウキャスト)といった気象情報を一つの地図画面で表示します。また、インターネット上のライブカメラや水位計、雨量計などのサイトにも同じ地図からアクセスできます。

※ 降水ナウキャスト、雷雲ナウキャスト

気象庁が10分ごとに発表している10～60分後までの予想降水量、雷雲の発生状況

2) 地図上に自由にメモを追加

テレビ、インターネット、社員などから収集した災害や被害の情報、現場や拠点からの報告などを、

簡単に地図に書き込み、遠隔地や部署を超えて共有することができます。また、既書き込んだメモへの追加や検索も可能です。

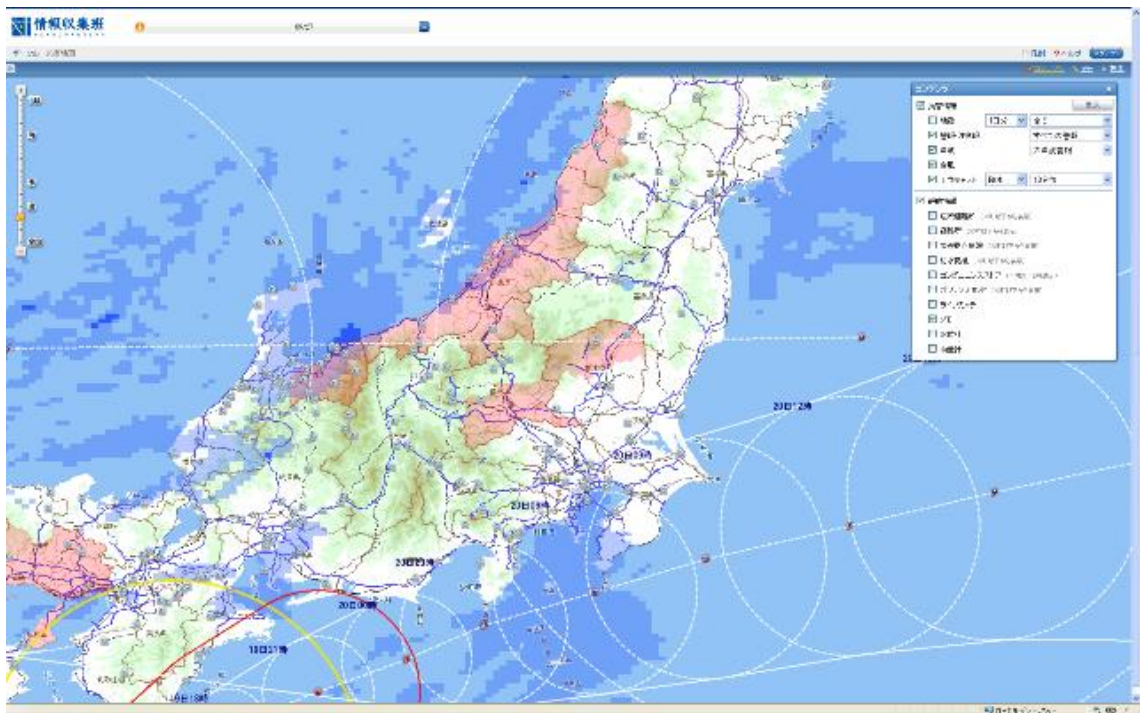
3) 災害発生を自動配信

地震、津波、警報・注意報の発令・解除を事前の設定条件に従い、関係者に自動通報します。

4) その他の機能

気象情報やライブカメラの閲覧、メモの書き込みなど、管理系を除くほとんどの機能をiPadでご利用いただけます。これにより、電話やFAXなどで受けた報告内容を直感的な操作でメモに登録できます。

■ 画面イメージ



■ お問い合わせ先

(報道関係から) 株式会社パスコ 広報担当 TEL:03-6412-2800
(お客さまから) 株式会社パスコ カスタマーセンター TEL:0120-494-800